

# 「まちづくり」へ連携・協力のガイドライン



平成19年5月

社団法人 日本フランチャイズチェーン協会  
*Japan Franchise Association*

## はじめに

---

人口減少や少子高齢化社会を迎え、また、都市・住宅の郊外化や車社会の進展に伴って、商業・サービス業が拠って立つ都市基盤が大きく変わりつつあります。全国中心市街地の崩壊や自治体の財源課題等の問題も加わり、すでにまちづくり三法の見直しが行われました。郊外大型商業施設を規制し、同時に中心市街地を積極的に活性化させることを意図した新たなまちづくりスキームが実施されることになっています。これからのまちづくりは「中心市街地活性化協議会(自治体により異なる可能性あり)」等の意見を反映して、市町村が、将来的なインフラ維持コストを含めた都市構造の全体像を明確にした上で策定し、これを内閣府が支援認定を行ったうえで進めることになりました。

JFA会員は地域の商業振興・社会的責任等への対応について、すでに地域とのコミュニケーションを重視しながら連携協力を実践していますが、中心市街地等の衰退化を止めるため、これまで以上にフランチャイズに対する地域経済活性化への期待が高まることが予想されます。しかしながら、自治体、地域経済団体、消費者に対するフランチャイズ・システムの知識や理解が十分でないために、無用な摩擦も起こる場合も考えられます。本部に蓄積された経験と実績の裏づけにより開発されたノウハウやブランドを、地域事業者としての加盟者が活用し、地域商業・サービスの発展に寄与するのがフランチャイズ・システムの社会的使命になります。規模の利益や信頼できるブランドの力は大きい活用しますが、地域に暮らすお客様の価値の最大化のために本部と加盟者とが協力し合っているという意味では、フランチャイズ産業は地域産業であるとみなす必要があります。このようなフランチャイズの事業特性をよく認識した上で、地域の自治体、地域経済団体、地域消費者と連携・協力して良好な関係を築いていくことがフランチャイズの事業者責務の遂行になるということが出来ます。

JFA会員(本部事業者)は、「中心市街地の活性化に関する法律」の基本理念(第3条)、事業者責務(第6条)の趣旨を踏まえて、「まちづくり」へ連携・協力について情報や指針をフランチャイジー(加盟者・事業者)に提案する必要があります。フランチャイジーは独立の事業者として主体的に適切な判断によって、商業活動を行えるようにすることが、自治体・地域経済団体・地域商業者・消費者からの信頼の獲得・評判づくり等ができ、良好な地域社会・商業環境形成ができると考えられます。双方の事業者によるフランチャイズ展開、マーケティングや市場深耕、プラントの育成や店舗の指導支援、総合的なフランチャイズ・システムの充実等にこれからは、「まちづくり」連携・協力も加えることが必要であり、JFA会員が「まちづくり」連携・協力に対応をするためガイドラインを作成することとします。

## 1 行政、地域経済団体、消費者等の活動への協力及び参画

### (1) 地方自治体主催の地域商業活性化等の意見交換会へは可能な限り参画します。

地域に密着した活動に対する助言、JFA会員が有する知識や人脈等の情報提供を行います。

### (2) 地域経済団体、消費者等との意見交換や対話集会には可能な限り参画します。

### (3) 地域経済団体、商店会活動等への協力を行います。

中心市街地への出店は現在少数ですが、これから多様な展開の中で増える可能性も出てきます。また、近時地方自治体のまちづくり条例等で商店会等への加入促進が図られており、一商業者の役割として消費者への利便性の向上や地域の活性化は、地域経済団体、商店会等との連携・協力なしでは困難なことも事実です。諸活動や加入については、地域事業者の意思を尊重することとし、地域に存在する以上できる限り事業者責務を果たせることが望ましい。

### (4) 地域における社会的問題(防犯、防災、青少年問題等)への取組みを積極的行います。

#### \* コンビニエンスストアのセーフティステーション(SS)活動の実施

SS活動経緯：2000年 警察庁から「まちの安全・安心の拠点」となるべく活動要請を受けて、  
'03年～'04年トライアル活動を経て'05年全国40,502店で実施、現在'07/2 42,208店で実施中。  
(後援：経済産業省・内閣府・警察庁・消防庁・財務省・国税庁・厚生労働省、全国自治体・関係団体の協力支援)

## 2 安全・安心なまちづくりへの協力

コンビニエンスストアでは年中無休、長時間営業を利点として自主防犯の意識を高め、「まちの安全・安心な生活拠点づくり」を目指してセーフティステーション活動を実施しています。

具体的には、

- (1) 自主防犯(強盗・万引き等の防止対策)体制を強化する
- (2) 緊急事態(災害・事故・急病人等)に対する110番・119番通報をする
- (3) 女性・子ども等の駆け込みへの対応をする
- (4) その他「子ども110番」店としての活動をする

\* コンビニエンスストアのみでなく、外食、小売・サービス業も数多く認証を受けて活動中。

\* 外食、小売・サービス業におけるSS活動準備中('07年6月トライアル)

セーフティステーション(SS)活動内容：防犯・防災緊急時における通報、子ども・女性への緊急時の協力、コミュニティづくりへの協力を行います。

## 3 青少年健全育成への協力

年齢確認により酒類・たばこ・成人向け雑誌を未成年者に販売しないことはもとより、青少年非行化防止として、店頭等に青少年が長時間たむろし、近隣住民への迷惑、営業妨害となる場合には、複数の人員で注意・勧告を行い、退去しない場合には警察へ通報します。特に青少年の深夜の外出・徘徊には地域の条例・規則に基づき帰宅を促すよう努めます。

\* 成人向け誌については、シール止めを行い区分什器内に陳列し立ち読みをできなくしています。

## 4 災害時の地域支援への協力

### (1) 災害時の徒歩帰宅困難者支援協定の締結への協力をします

各自治体からの要請により、災害時に徒歩帰宅者に対して、申し出があれば水道水の提供やトイレの使用、テレビやラジオ等店舗で知り得た情報をわかる範囲で周辺の道路状況を教えるなど、可能な限り支援と情報提供に努め、支援協定の締結について拡大に努めます。

### (2) 被災地の支援に協力をします

大規模な災害が発生した際、会員事業者の主導により被災地への物資等について可能な範囲で支援や救援募金活動への協力をします。

## 5 地域の清掃活動への参加・協力

店舗前や近隣の清掃及び一斉清掃活動等について数多くのフランチャイズチェーン店で実施・参加しています。この活動をさらに地域と連携した活動となるよう努めます。

## 6 職場体験等の受け入れの協力

地域・学校等の要望により職場体験（インターンシップ）等の受け入れを数多く行ってきており、継続して子供たちの社会学習の場・大人とのコミュニケーションの場をフランチャイズ店で提供できるよう努めます。



## 7 地域の雇用創出に協力

フランチャイジーは地域事業者が経営者であり、多くの場合従業員は地域の生活者です。社員、パート&アルバイトは学生中心の人材確保では店舗の拡大は困難になります。中高年層、団塊の世代のリタイア層をいかにフランチャイズ人材に引き込むか雇用創出の具現化に取り組めます。

\*フランチャイズ業界では'05年度年間8,500店増、6,600億円の売上増加、当協会会員でその内約60%を占め今後も雇用拡大が見込めます。

# 環境保全活動

## 8 地球温暖化防止の推進

京都議定書では、わが国全体で温室効果ガスを目標年（2008年～2012年度）において基準値（1990年度）比6%排出削減が義務付けられたことに対し、省エネ機器（インバーター式冷凍・空調・照明等）の導入、物流部門（共同配送の推進、アイドリングストップの実施、低公害車の積極的導入等）の見直し等により環境負荷低減に取り組めます。

## 9 廃棄物削減の推進

コンビニエンスストアでは、協会統一により、レジ袋無用（少量買物客等）の「声かけキャンペーン」の実施、「適正サイズ」の利用等、徹底を図ることにより、2010年度において最終削減目標値35%削減（2000年度比）に取り組んでいます。また、食品廃棄物のリサイクル（生ゴミのリサイクル、廃食用油リサイクル等）にも取り組めます。

## 10 緑化推進

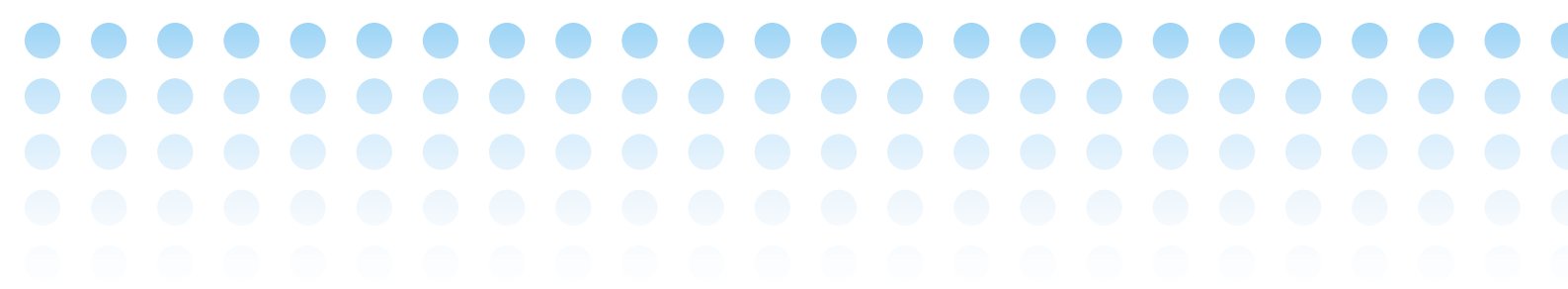
社会貢献活動として植林や店頭の募金活動により環境団体への支援を行う事業者も多数存在します。台風被害による森林等の整備活動、自然体系を維持するための支援等大きな実績となっています。長期に渡り継続することにより地球温暖化防止・CO2削減のために貢献します。

おわりに

---

### 「まちづくり」へ連携・協力のガイドラインを検討する組織について

自治体、地域経済団体、消費者団体等からの動向や、会員の地域事業者等から事例の情報収集、分析討議、ガイドラインの見直し対策等については「規範委員会」が行います。また、状況により他の委員会や専門家等に出席願う場合もあります。委員会の検討結果は、幹部会で討議のうえ理事会の承認を得ることとします。



社団法人 日本フランチャイズチェーン協会  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-6-2 第二秋山ビル  
TEL. 03-5777-8701 / FAX. 03-5777-8711

